

## 歴史総合

単位数	2単位	対象学年	1学年	対象コース・クラス	全クラス
使用教科書	「詳解 歴史総合」(東京書籍)	副教材等	「詳解 歴史総合 要点整理ノート」(東京書籍)、オリジナルプリント		

### 1. 学習の到達目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形式に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。オリジナルプリント等を活用して網羅し、知識の定着を図る。

### 2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

1. 中間考査・期末考査の結果、提出物、授業中の積極的発言や作業への取り組み状況などを総合的に評価する。(評価の観点があることを考慮する。)
2. 定期的に小テストをさせて復習状況を確認し、評価の参考にする。
3. 収集した日本史についての諸資料を、客観性や公正さにも配慮した上で取捨選択して活用する。

### 3. 学習上のメッセージ

授業で進む範囲については、必ず教科書を読んでおくこと。  
 解説、授業内容と教科書の記述内容、板書事項、図表など、しっかりその都度照合しながら、授業中に理解しようと努めること。  
 重要事項のみならず、欄外の補足も丁寧に読むと理解に役立つ。  
 ノートの使い方(プリントの貼付方法・補足事項の記入方法等)を年度の冒頭の授業で説明するので指示に従う事。

### 4. 評価の観点・方法(年間の評定)

評価は次の3つの観点から行う。

知識・技能	<p>○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。</p> <p>○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p>
思考・判断・表現	<p>○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。</p> <p>○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。          (○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。)</p> <p>○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。)</p>

このため、次の3観点を、記載の評価資料にもとづいてA、B、Cで評価する。

- 知識・技能：定期考査、小テストなど
- 思考・判断・表現：定期考査など
- 態度：提出物、授業態度など

評定は、各観点の評価(A、B、C)にもとづいて、次のように算出する。

- ・AAA→5
- ・AAB→4
- ・ABB~BBB→3
- ・BBC~BCC→2
- ・CCC→1

1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
序章 歴史の扉 第1章 近代化と私たち	1節 歴史と私たち 2節 歴史の特質と資料 1節 近代化への問い 2節 結びつく世界と日本の開国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や日本周辺の地域および世界の歴史につながっていることを理解する。</li> <li>・中学校の歴史的分野で学習した内容を基に前近代の日本と世界のつながりについて振り返る。</li> <li>・近代化に伴う生活や社会の変容について、多面的・多角的に考察し、問いを表現する。</li> <li>・18・19世紀の東アジアが、どのように変化をとげたのかについて理解する。</li> </ul>
1学期中間試験		
第1章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治改革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多目的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲制と国民国家の形成を理解する。</li> <li>・明治維新は、どのような国際環境の中で起き、日本社会をどのように変えたのかについて理解する。</li> </ul>
1学期期末試験		
第2章 国際秩序の変化や 大衆化と私たち	1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会 3節 経済危機と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大衆化とは何か、また大衆化によって人々の生活がどのように変化したのかを理解する。</li> <li>・第一次世界大戦はどのように展開したのかについて理解する。</li> <li>・第二次世界大戦の勃発とその拡大、および日中戦争との結びつきについて理解する。</li> </ul>
2学期中間試験		
第2章 国際秩序の変化や 大衆化と私たち 第3章 グローバル化と私たち	4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際秩序の変化や大衆化の歴史を振り返り、理解を深める。</li> <li>・グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。</li> <li>・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。</li> </ul>
2学期期末試験		
第3章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進国において、近代的な価値観を問い直す動きが現れ、価値観の変容が生じたことについて理解する。</li> <li>・科目のまとめとして、現代的な諸課題に関する主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響に着目して多面的・多角的に考察し、表現することを通して歴史的経緯を踏まえて、持続可能な社会に向けて、現代的な諸課題の展望を探究する。</li> </ul>
学年末試験		

